

無料

ベストプランニング主催

資産運用マネーセミナー開催

秋号のテーマ

- 知っておく介護！
- 8050問題とは
- セミナーお知らせ

差出人：株式会社ベストプランニング

- 本店：福岡県久留米市南3-23-19-1
- 朝倉支店：福岡県朝倉市甘木184-1
- 佐賀支店：佐賀県佐賀市本庄町末次32-32-202



要介護認定者数 **過去最多658万人**
 介護給付金の費用 **10兆1129万円**
 (2019年3月末時点 厚生労働省の発表)

要介護になった原因(平成28年国民生活基礎調査の概況)

	要介護者全体	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1位	認知症 24.8%	認知症 24.8%	認知症 22.8%	認知症 30.3%	認知症 25.4%	脳卒中 30.8%
2位	脳卒中 18.4%	高齢衰弱 13.6%	脳卒中 17.9%	脳卒中 19.8%	脳卒中 23.1%	認知症 20.4%
3位	高齢衰弱 12.1%	脳卒中 11.9%	高齢衰弱 13.3%	高齢衰弱 12.8%	骨折転倒 12.0%	骨折転倒 10.2%

要介護4までの原因第1位が認知症！？



認知症は誰がなってもおかしくない症状です。そうなる前の備えが重要です。

<実際に介護を経験された方が困ったこと>

- ・介護費用の負担が大きい
- ・自分以外で家族や親戚に介護をできる人がいない
- ・介護を必要とする期間がどのくらいになるかわからない

現役世代が払う
介護保険料

増大する
介護給付金費用



<今後の日本>



遺伝が確認されている病気

胃ガン

スキルス性胃ガンなど遺伝しやすいものがある。

乳ガン

患者の約2割は遺伝によるものとのデータがある。

高血圧

両親が共に高血圧の場合、子どもが高血圧を発症する確率は50%というデータがある。

糖尿病

両親が共に糖尿病の場合、子どもが糖尿病を発症する確率は50%と言われている。

心筋梗塞

遺伝の影響が無視できない高血圧が主要な発症原因のため、遺伝と関わりのある病気と言える。

くも膜下出血

遺伝の影響がある脳血管障害が発症原因となるため、遺伝と関わりのある病気と言える。

緑内障

身内に複数の発症者がいる場合は、注意が必要とされている。

認知症

高齢での認知症に遺伝はあまり関与していないが、若年性アルツハイマーは遺伝の影響が大きい。



何らかの病気によって脳の細胞が破壊され、一度正常に発達した認知機能が損なわれることを言います。認知症が進行すれば、日常生活や社会生活に支障をきたすようになります。

年相応の「もの忘れ」

- ・家族や知人の名前が思い出せない
- ・何を食べたか思い出せない
- ・もの忘れの自覚がある

認知症の「もの忘れ」

- ・家族や知人自身の事を忘れる
- ・「食べたこと自体」を忘れる
- ・もの忘れの自覚がない

現時点では認知症を完治させる治療法はなく、できるだけ快適に暮らせるようにするのが治療の目的になっています。

80代が50代を支える!?

8050問題

引きこもる中高年が50代を迎え、支える親も80歳を超え高齢化。その家族を取り巻く様々な困難や、社会に支援体制が不十分なことで起きる問題、いわゆる“8050問題”が注目されています。今の時代は、核家族化や少子化を中心とした社会環境の変化、バブル崩壊を契機とした非正規雇用、低収入、非婚化などの問題が複雑に絡み合っており、単純に引きこもりに原因があるわけではありません。この背景には、ネット社会の普及も影響しています。ネットワークの充実によりたくさんの人とのつながりは増えましたが、現実世界での助け合えるコミュニティが少なくなっています。問題を解決するキーワードは、一人にならないことです。そして家族だけの問題にせず、外部の支援を活用することです。しかしながら、日本の福祉は、基本的に「申請」がベースです。こちらからアクションを起こさない限り歩み寄ってはくれません。

コロナ禍で新たな8050問題

今まで長年勤めていた会社を、業績不振を理由に解雇され、親の年金で生計を維持せざるを得ないケースもあります。新たな8050問題です。失業した人の中には配偶者がいる場合もあり、生活はさらに追い込まれていきます。親と子がそれぞれ自立して成り立っていた生活も、コロナによってバランスが崩れつつあります。他人事のように聞こえるかもしれませんが、現実でおきている問題です。

コロナ関連で解雇された人



約60,000人
(2020年9月時点)

コロナ関連で倒産した会社数



約500件
(2020年9月時点)

これからの日本

少子高齢化

超高齢社会により医療・介護費を中心に給付と負担のバランスが悪くなる

年金制度

保険料を負担する現役世代と、年金を受け取る高齢者の比率が変わることで、年金の支給額や支給開始年齢が変更される可能性が高い。

老後の資産形成

人生が長くなる分、多くのお金が必要になってくるが歳を重ねると働いてお金を稼ぐことは難しくなってくる。老後も不自由なく生活するには、働けるうちに資産形成を行う必要がある。

こんな不安はありませんか？

- ・定年時に退職金はもらえるのだろうか？
- ・年金がいくらもらえるか不安だ・・・



人生100年時代を生き抜くために

今年の2月頃から猛威を振るったコロナウイルスですが、個人だけではなく、日本全体に大きな影響を及ぼしました。企業の倒産や収入減などで影響を受けた方も少なくありません。

しかしながらコロナ禍の出来事はマイナスばかりだったのでしょうか。むしろコロナ禍によって気づかされることも多くあったと思います。特に「お金に関する備え方」に変化があったように思えます。今後どんな困難にも立ち向かえるように、きちんと備えをしておかなければなりません。このような困難な時代だからこそ、資産運用について今一度考えてみてはいかがでしょうか。他人事ではなく人生100年時代はもうすぐそこまで来ています。

ベストプランニング特別セミナー

「不安な時代だからこそ知っておきたい
資産運用とお金の正しい知識」
～実践している資産運用を成功に導くために
必要な知識と強い信念～

開催日時	参加方法
2/12(金) 19時～21時	WEBオンラインセミナー 参加ご希望の方はQRコード又はURLからお申し込みください  https://questant.jp/q/bpseminar
2/13(土) 10時～12時	
*各回定員100名	

セミナー内容

参加無料です！

いま実践している資産運用を成功させるためには、株価の値動きに一喜一憂することなく、継続することが大切です。資産運用の原則である「長期・分散・積立投資」は、長い歳月を通じて世界の機関投資家や個人投資家が実践してきた、そして成果を出してきた投資の原則です。

今回は、人が投資を継続することを困難にさせてしまう「恐怖」や「欲」に負けないために、知ってるようでしっかりと理解されていない「積立投資」について正しい知識を身につけます。皆様が正しい知識をもって資産形成を継続し、ご自身のライフプランを達成することができれば幸いです。

講師

株式会社スピーク・パフォーマンス 代表取締役 伊藤進氏

英系金融機関にて外国為替のブローカー・ディーラーとして社会人をスタートし、以降、米投資銀行であるモルガン・スタンレーなど、金融機関に長年勤務してきた伊藤氏は、現在、機関投資家向け法人営業を行っている一方、株式会社スピーク・パフォーマンスの代表取締役として銀行や保険会社の資産運用アドバイザー向けに金融・経済・資産運用に関する研修講師や、最終投資家向けセミナー講師として資産運用の必要性を強く訴えています。

25年以上にわたり、資産運用の最前線で数々の金融危機を乗り越えてきた経験から繰り出される生々しい話は、一般的な「マネーセミナー」とは観点が異なり、普段聞くことができない経済・金融・資産運用の話で、非常にわかりやすく、面白くお話ししていただける方です。